

各会議等の実施状況報告について	提出日	令和5年10月24日
	担当課	スポーツ・生涯学習課
<p>会議名称 第1回 湖西市生涯学習推進協議会  開催日時 令和5年9月28日(木) 10:00～11:00  開催場所 市民活動センター2階 大会議室  出席者 委員：4名  事務局：3名 【計7名】※傍聴者1名</p>		
<p>1. 開会  2. 教育長あいさつ  3. 委員自己紹介  4. 協議事項</p> <p>(1) 生涯学習推進に向けた取組結果について(事務局説明)</p> <p>委員：これまでの半年間の活動の全体的な評価はどのように考えていますか。  事務局：コロナ禍で出来ていなかった「つながるシート」を使った親同士のグループワーク等も出来ており、活動がコロナ前の状況に戻りつつあると評価している。</p> <p>(2) 各組織・団体における生涯学習の取組事例について</p> <p>委員：生涯学習の取り組みがコロナ前に戻りつつあることはよい傾向だが、受講できる対象の方が多いにもかかわらず、親御さんが働いていることもあるかもしれないが、参加する方が少ないと感じられ残念に思うことがある。  文化協会も高齢化が進んでおり、それに伴い、興味はあるが会場に行く手段がないという現状もあると感じている。また、コロナ禍の4年間により、やる気が失せてしまい、自分を鼓舞することも下手になってきてしまったとも感じている。新居地域センターの1年間の使用制限により活動が頓挫したりしている。いろいろな講座等の提案はできているものの、これらいろいろな意味での縦横のつながりが充分でないと感じるところもあるので、つながりを持てるよう生涯学習をサポートしてほしい。</p> <p>委員：南部構造改善センターでの活動は、人数が減少傾向にある。行く手段がない、場所を知らない、わかりづらいということがある。  華道の活動は、申し込みが少ない。どんなニーズがあるのかわからない。華道というよりも、もっと身近なやり方で子どもたちも楽しくできる活動ができればとも考えている。</p> <p>事務局：家庭教育学級やふたば学級で、そのような活動が可能です。来年度の活動メニューとして検討することもできますので、ご相談したい。</p> <p>委員：ダンス講座は、90人の応募があった。たくさんの人に対応できたらと4回に分けて開催した。いろんなことをやりたい人はたくさんいると思うが、回覧板では子供までは伝わらない。多様な講座があるのにもったいないと感じた。子供たちの目にも触れるSNSなど、ニーズに合わせて多様な案内をすることも必要だと感じている。  今の子どもたちはコミュニケーション能力が低下していると感じるので、気軽にこのような講座に参加できるようになればいいなとも感じる。働き方の多様化に合わせて土日ば</p>		

かりでなく平日の開催もあってもいいと思う。市としても市民が活動しやすいように交通面の活性化も検討する必要があると思う。

ブースごとに多様な講座を一堂に会するイベントを開催し、多くの講座との出会いの機会を設けることでお互いの講座のクオリティも上がって、活性化されるのではないかと感じている。

委員：私共の団体は多目的ホール開設に伴いその活用を任として発足した。主な活動としては、古典を中心とした講座の開催、施設等への出前講座の展開等を実施している。市長講演では、質問時間を多く取り市民の声を聴いていただいている。また、エンディングノートの講習会も実施した。「からだ元気、こころ元気、つながり元気」をモットーに活動している。コロナ以降、活動の成果を披露する機会がなくなってしまったとの声があるので、今後そういう場もつくっていきたいと考えている。

事務局：いろいろなご報告ご意見をいただき、ありがとうございました。

交通の便に関しては、所管外なのですが、昔に比べるとコーちゃんバス等、良くなっていると思いますが、痒いところに手が届くまでに至るには難しいところです。いろんな講座を一堂に会してのイベントについては、これまでにない魅力的な展開を考えるうえで面白いご提案かと感じました。

### (3) 意見交換

委員：若い世代の斬新な意見を聞けることは大切で、高齢な方々ばかりでは考えが固定化されてしまう。多世代のいろんな考えを出し合えるための人選も必要である。

委員：南部構造改善センターの場所がわかりづらいので、案内看板等の設置を検討してほしい。

事務局：現在も看板は設置されているが、わかりづらい。ふたば学級開催の際は、白須賀小学校あたりから人を配して案内した。使用機会を増やして周知をしていきたい。講座案内の中での地図など工夫していくことも検討したい。

委員：センター係扱いの生涯学習講座の申込み受付が、電話ファックス受付によらず会場での直接受付となっているが、従来の手法に加えてQRコードやLINEなど申込み受付手段の多様化をすれば申込み数の拡大にもつながっていくのではないかと。

事務局：センター係扱いの講座受付は、これまでの慣習によるのか会場受付のみとなっているが、生涯学習係扱いの講座は、LOGOフォームからの受付など会場に足を運ばなくてもできるようになっている。今後は、センター係扱い分も含め申込み受付方法の多様化を検討したい。

委員：活動を披露する場所がない話があったが、おいでん祭のような湖西のイベントで、他からの招致ではなく、湖西の団体のパフォーマンスを披露できる場を設けることもできるのではないかと。メインの前座とかで、小中高の学校や団体が花とダンスでコラボするとか、いろいろ披露できる場を設け、それらをSNS等で発信することで湖西のPRにもなると思う。

委員：芸事には、いろんな流派があって、その壁を壊すのが大変。しがらみやプライドがあって、コラボとかしたくても難しいところがある。伝統を守るためにも、指導者も柔軟に考えていかなければと感じている。市からも、壁を壊して柔軟な活動を披露できるような仕掛けづくりをしてほしい。

事務局：いただいたご意見について、すべてを一気には無理であるが、変えられるものは変えていかなければ、とは感じている。できることから検討をしたい。

## 5. 閉会